

「障害者問題を考える」と
題して、柏木正行氏が話され
た。概要を不自由な体で、ワ
ードプロセッサーで打って配
現在の福祉政策についてであ
すべての人と与えられている
世界人権宣言にあるように、
いかなる事由による差別も受
けないことなく、権利と自由は
感じます。

柏木さんの お話を聞いて

◎車イスで自由に
走る店に入れる
などが入口
をぶさいいで
いる。(私た
ちのちょっとしたことが耳
がいたい話でした。)

◎職員の配置を
②図書館の方で本を一緒に
搜しててくれる職員の配置
(取りたい本があつても車
イスでは手が届く範囲が決
まっているので思う本に出

りここの上には何人の障害
者が生活しておられます。
障害者の方はこの地域
図書館にどんな要望がある
のだろうかということであ
ンケート調査したこととま
とめてみると。

図書館を育てる会の一 年

◎車イスで自由に
走る店に入れる
などが入口
をぶさいいで
いる。(私た
ちのちょっとしたことが耳
がいたい話でした。)

◎対面朗読室を
⑤対面朗読、そしてそれ
を受けられる個室、そして
点字図書を置いて欲しい。
(今は岡崎の府立図書館で

③カウンター、机も車
イスに入る高さ、幅を考えて
欲しい。(車イスはその使
用する人によって重さ、高
さ、幅が違うのです。)

◎スロープを
④この建物の二階にスロ
ープをつけて欲しい。(力

⑥職員のできる職員を
△手話ができる職員を

△手話のできる人、そし
て手話サークル

△手話ができる職員を
△手話のできる人、そし
て手話サークル

△手話ができる職員を
△手話のできる人、そし
て手話サークル

△手話ができる職員を
△手話のできる人、そし
て手話サークル

△手話ができる職員を
△手話のできる人、そし
て手話サークル

△手話ができる職員を
△手話のできる人、そし
て手話サークル

△車イスで自由に
走る店に入れる
などが入口
をぶさいいで
いる。(私た
ちのちょっとしたことが耳
がいたい話でした。)

図書館は 人と本の橋渡し

向島には障害者住宅もありこの上には何人の障害者の方が生活しておられます。障害者の方はこの地域図書館にどんな要望があるのだろうかということであると見てみると。

△車イスで自由に

△スロープを

△手話ができる人、そし
て手話サークル

△手話ができる人、そし
て手話サークル